

【製品評価技術基盤機構】

平成26年度第4／四半期における公益法人等への会費支出の状況

平成27年5月18日掲載

	交付先法人名称	名目・趣旨	交付額 (単位:円)	支出先法人が定める 会費一口当たりの 金額、もしくは最 低限の金額 (単位:円)	交付日等 (支出決定日)	支出の理由等
1	(一財)日本規格協会	研修会参加	1,161,000	-	9月12日 11月18日 3月5日 3月20日	工業標準化法に基づく製品認証機関登録制度等にかかる業務において審査員は立入検査を行うにあたり、その資格基準として品質管理に関する適切な知識を持っていることが要求される。そのため、当該知識を習得できる研修を受講するもの。  (研修4種、のべ6人) ○「JIS品質管理責任者セミナー 専修科コース(9日間)」362,880円 ○「品質管理と標準化セミナー 22日間コース」334,800円 ○「品質管理と標準化セミナー 22日間コース」356,400円 ○JIS品質管理責任者セミナー 入門講座76回(2月) 106,920円
2	(一財)建材試験センター	研修会参加費	414,720	-	2月9日	当該交付先はJNLA登録事業者であると共にJIS A 1108コンクリート圧縮強度試験方法の技能試験プロバイダーとして、毎年の技能を開催していることから高度な技術及び経験を有しており、認定業務に必要な当該試験方法の研修先として最適であるため。  (研修1種のべ7人) ○平成26年度JNLA土木・建築分野技術研修 414,720円
3	(一社)日本化学物質安全・情報センター	年会費	275,000	-	7月18日  1月5日、3月31日 ※分割で交付決定	当該交付先は国内外の化学物質管理に関する法規性等の情報を収集し、情報を発信している。そこに含まれる国内外の行政及び業界の動向に関する情報やトピック、化学物質の安全性及び毒性情報に関する専門誌や学術雑誌の翻訳、抄録等の最新情報を毎月定期的に得るため。  (年会費1種、研修2種のべ2人) ○年会費 250,000円 ○中国の化学品規制の概要 15,000円 ○韓国「化評法」及び「化管法」の下位法規の概要 10,000円
4	(一財)日本科学技術連盟	研修会参加費	124,200	-	3月13日	当該交付先が主催する製品事故の調査・分析に係る手法の活用に関する研究会に参加することにより、製品事故の調査等業務の実施に必要な当該手法の活用術を修得するため。  (参加費1種、のべ1人) ○R-Map実践研究会参加費 124,200円
5	(公社)日本農芸化学会	年会費・参加費・出展料	268,800	-	2月26日 3月2日 3月30日 3月31日	機構の業務活動の成果を広く国民・社会に対して円滑、効果的に普及させるため、各種展示、一般公開等の様々な広報手段を活用し、効果的かつ効率的な広報活動を推進することとしており、当機構の実施する菌株提供業務に係る広報を、当該業務の主な利用者になりうる農芸化学にかかわる企業向けに開催される「日本農芸化学会2014年度大会」へ出展を行った。  (年会費1種、参加費2種のべ3人、出展料1種) ○年会費 10,000円 ○日本農芸化学会2015年度大会参加費 10,000円×2人 12,000円×1人 ○日本農芸化学会2014年度大会出展料 226,800円
6	(一社)日本化学工業協会	年会費・研修会参加	105,000	-	11月26日 3月31日	当該交付先が主催する化学物質のリスク評価に係る種々の評価技術に関する研修に参加することにより、化学物質の管理等業務の実施に必要な当該評価技術を修得するため。  (年会費1種、研修1種、1人) ○平成26年度年会費 100,000円 ○危険物輸送における安全管理 5,000円
合計			2,348,720			